

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【公開番号】特開2014-20398(P2014-20398A)

【公開日】平成26年2月3日(2014.2.3)

【年通号数】公開・登録公報2014-006

【出願番号】特願2012-157051(P2012-157051)

【国際特許分類】

F 16 K 31/122 (2006.01)

【F I】

F 16 K 31/122

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月23日(2016.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

ボディの上方に取り付けられるケーシングと、中央部に貫通孔を有する複数枚の円盤状ダイヤフラムスプリングからなり、貫通孔の下側周縁部によって弁棒を下方に付勢する付勢部材と、付勢部材の貫通孔の上側周縁部を下方に押圧する内側ばね押さえと、付勢部材の外周縁部を下方に押圧する外側ばね押さえと、操作エアが導入されることで外側ばね押さえを下方に押圧する操作エア導入室とを備えており、付勢部材は、操作エアが操作エア導入室に導入されていない状態で、自然状態の下方に凸の形状に対して凸の量が小さくなるように弾性変形させられて、弁棒を下方に、外側ばね押さえを上方にそれぞれ付勢しており、操作エアが操作エア導入室に導入されることにより、外側ばね押さえが下方に押圧されて、付勢部材が上方に凸の形状に変形するようになされている流体制御器用アクチュエータにおいて、

内側ばね押さえは、軸部と、軸部の下端部に設けられた円筒部とを有し、円筒部の下端によって付勢部材の貫通孔の上側周縁部を押圧しており、軸部は、外側ばね押さえ部材を貫通して上方にのびており、ケーシング頂壁に、下端が内側ばね押さえの軸部の上面に当接させられることで内側ばね押さえを位置決めする調整ねじがねじ合わされていることを特徴とする流体制御器用アクチュエータ。